

第3回 地域振興事業

「丘の公園」あり方検討

平成24年8月31日

山梨県企業局

目 次

1	地域振興事業(丘の公園)の必要性及び課題について	・・・1
2	地域振興事業(丘の公園)の存続について3
3	今後の経営形態の検討4
4	地域振興事業の経営改善のための方策について5
	(1)健全な経営を続けていくための条件5
	(2)借入金の取扱いについて7
	(3)事業規模を縮小した場合の収支推計8
	(4)ゴルフ料金を引き上げた場合の収支推計9

1 地域振興事業(丘の公園)の必要性及び課題について

(事業の目的等)

- 地域振興事業は、本県の恵まれた立地条件と美しい自然を活かす中で観光開発等を行うことにより、地域の振興を図ることを目的としている。
- 丘の公園は、八ヶ岳南麓の県有林を活用した総合スポーツ・レクリエーション施設として運営している。

(注) 県有林の活用は、「山梨県恩賜県有財産土地利用条例」に定める県の策定する長期開発計画に基づいて行うこととなっており、地域振興事業(丘の公園)については、「県総合福祉計画」に位置付けられている。

(検討委員会のこれまでの意見)

- 県有林の高度活用を図りながら、八ヶ岳南麓地域の滞在型観光地の中核施設としての機能を維持していく必要性は高い。
- 公営企業として事業を続けていくには経営改善が必要であり、借入金の処理を抜本的に考えるべきである。
- 経費を節減するため、事業規模を縮小することも考えられるのではないか。
- 経営の安定を図るため、受益者負担を増やすことなど、収入を増やす方策が必要ではないか。

地域において丘の公園が果たしている役割（参考データ）

2

（１）入込客数

（人）

八ヶ岳高原周辺(a)	丘の公園(b)	b/a	備考
2,197,373	222,084	10.1%	(a)は県観光入込客統計調査（H22圏域別実人数） (b)は22年度実績

（２）雇用

（人）

雇用区分	社員	契約	期間	パート	計	人件費	備考
人数	25	9	28	13	75	201,458千円	従業員数は、H23.3.31現在 人件費は指定管理者のH22決算

（３）税収等

（千円）

税目等	22年度		事業開始後の累計		備考
	県	地元市等	県	地元市等	
ゴルフ場利用税	6,788	15,840	301,474	703,441	地元市へ70%交付
入湯税		4,688		71,983	
地代	47,914	15,971	1,777,918	592,639	財産区へ25%交付
計	54,702	36,499	2,079,392	1,368,063	

2 地域振興事業(丘の公園)の存続について

(現状認識)

- 丘の公園は地域にとって必要な施設であるが、地域振興事業の経営状況は厳しく、事業の継続性をどうするかというところから判断しなければならない。
(第1回検討委員会意見)

- 地域振興事業を存続していくためには、必要な納入金額を確保し、経営の健全化を図っていかなければならない。

※ 公営企業会計は、平成26年度から新たな会計基準となり、借入資本金(建設資金)は資本から負債へと変わるため、貸借対照表上、負債が資産を大幅に上回る債務超過状態となる。

3 今後の経営形態の検討

- 地域振興事業の業務内容は、ゴルフ場やレストラン等民間企業で行えるものであり、ノウハウを持った民間に任せた方が運営の効率性が図られる。
- 民間に任せる手法としては、
 - ・ 指定管理者制度の活用
 - ・ 民間に売却

の2つの方法が考えられるが、初期投資(施設購入費等)や賃借料、固定資産税等の負担が軽減される指定管理者制度による方が経営的に有利である。

費用の比較(初期投資を除く年間推定費用)

(千円)

区 分	指定管理者制度	民間に売却(民間所有)
借地料	60, 000	75, 000
修繕費	10, 000	10, 000
その他固定費	8, 000	8, 000
減価償却費	72, 000	72, 000
固定資産税	—	20, 000
合計	150, 000	185, 000

4 地域振興事業の経営改善のための方策について

(1) 健全な経営を続けていくための条件

- ① 各年度とも収益的収支が黒字になる。
- ② 施設を維持するため、必要最小限の改修費を内部留保できる。
- ③ 長期借入金の返済が可能である。

事業を継続するために必要な施設、設備の改修(想定)

ゴルフ場

(千円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	合計
経過年数(S61)(年)	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	
クラブハウス										建替	
(固定資産台帳価額)										320,000	320,000
カート道	改修		改修		改修		改修		改修		
(台帳価額の1/3)	10,000		10,000		10,000		10,000		10,000		50,000

アクアリゾート

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	合計
経過年数(H8)(年)	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
ボイラー	オーバホール					交換					
(見積)	10,626					20,000					30,626

現状のまま、地域振興事業の健全な経営を続けていくために必要な納入金の額

(千円)

区 分		条件根拠	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
条件①	収益的支出											
	修繕費	H26アクア改修 H27～定額	※ 16,126	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
	賃借料	H24価格	60,985	60,985	60,985	60,985	60,985	60,985	60,985	60,985	60,985	60,985
	減価償却費(a)		72,005	69,925	67,862	63,391	59,070	53,700	53,453	50,301	46,754	45,449
	その他		2,799	4,719	2,784	2,776	4,696	2,760	2,752	4,672	2,736	2,728
	支出合計(b)		151,915	141,129	137,131	132,652	130,251	122,945	122,690	121,458	115,975	114,662
条件②	建設改良費(c)	P5参照 ゴルフ改修	10,000	0	10,000	0	10,000	20,000	10,000	0	10,000	320,000
	(損益勘定留保資金残高) (aの累計額－cの累計額)		62,005	131,930	189,792	253,183	302,253	335,953	379,406	429,707	466,461	191,910
条件③	借入金償還計画額(d) (平成100年まで)		79,697	79,706	79,714	79,722	79,731	79,738	79,746	79,754	79,762	79,770
	納入金の必要額(b+d)		231,612	220,835	216,845	212,374	209,982	202,683	202,436	201,212	195,737	194,432

※ H26の修繕費については、アクアリゾートのボイラーのオーバーホールの費用10,626千円を加算している。

(2) 借入金の取扱いについて

- 地域振興事業が健全な経営を続けていくためには、借入金の償還が大きな課題となる。
- 償還金を現計画どおり償還していくためには、指定管理者納入金を現在の1億5千万円以上に設定しなければならない。
- また、平成26年度からは会計基準が変わり、現在、貸借対照表の資本に計上している借入金については、負債に計上することになるため、大幅な債務超過に陥る。
- これらのことから、借入金の取扱いについて他県の状況等も参考にする中で、適正に処理する方法を検討する必要がある。

(3) 事業規模を縮小した場合の収支推計

○ ゴルフ場3コース(27ホール)を2コース(18ホール)に縮小した場合

	27ホールの実績 (H22・H23平均)	18ホールの推計 (H22・H23実績から推定)
利用者数 (人)	41,500	37,900
収入 (千円)	340,591	311,045
支出 (千円)	296,000	※ 267,500
差引 (千円)	44,591	43,545

(注)

・ 利用単価は、H23実績の8,207円で算定

※ 規模を縮小した場合、支出が28,500千円減少

(内訳) 人件費 △6,000千円(2名分減少)

コース管理委託費 △22,500千円(面積279,585㎡減少)

(4) ゴルフ料金を引き上げた場合の収支推計

(利用単価を500円引き上げた場合)

	H22・H23平均実績	H22・H23の平均利用者数で 500円引き上げた場合
利用単価 (円)	(H23単価) 8,207	8,707
利用者数 (人)	41,500	41,500
収入 (千円)	340,591	361,341
支出 (千円)	296,000	296,000
差引 (千円)	44,591	65,341

(利用単価を1000円引き上げた場合)

	H22・H23平均実績	H22・H23 平均利用者数で 1000円引き上げた場合
利用単価 (円)	(H23単価) 8,207	9,207
利用者数 (人)	41,500	41,500
収入 (千円)	340,591	382,091
支出 (千円)	296,000	296,000
差引 (千円)	44,591	86,091